

2019年度 自己評価（園長編）の結果及び改善策

I 「教育内容」についての評価結果及び改善策

・乳児受け入れについて、家庭との連絡を密にする。保育室内の換気・加湿などにも配慮し、環境整備している。教職員は教育内容を共有し、ミーティングを繰り返し行っている。

・園内研修ではヒヤリハットや安全管理、また保育計画の見直しを計った。

・長い間培ってきた三本柱「食育」「子ども聖歌隊スマイル」「森のようちえん」は子どもにとっても価値のある行事として伝統的に続けていく。

「改善策」として、行事の量の配分とバランスを考慮する必要がある。ゆったりとした環境を構成していく必要がある。

II 「地域の幼児教育センターとしての役割」についての評価結果及び課題

子育て支援事業として「めえめえ・ひだまり広場」をホールで行なった。親と子のふれあいを大切にしながら実施している。平日に行っているのので0, 1, 2歳児も時々参加して楽しく過ごしている。

III 「安全管理」についての評価結果及び改善策

2階にも保育室があるため防災訓練を毎月行っている。避難経路、教職員の役割分担などを密に話し合う必要がある。

IV 「人事管理」についての評価結果及び改善策

・人事としては、経験豊かな保育者と若手保育者が相互に報告・連絡を保ちながら教育の過程を話し合い、密にミーティングを行っている。月案、週案、日案を掲げている。

・時間的には、忙しく余裕のない日常であるため、行事の量的な配分を考慮していく必要がある。

V 「財務管理」についての評価結果及び改善策

公認会計士による監査を受けており、法的整備は整っている。

VI 「評価と情報の公開」についての評価結果及び改善策

ホームページは毎週更新し、毎日の園での様子を発信している。

行事予定は、毎月各クラス便りで伝えている。手紙や電話で連絡を取り、家庭との連携を密にしている。今後共、継続して行なっていくつもりである。